

## 令和6年度「美祢市病院経営強化プラン」点検・評価報告書

### 1 令和6年度美祢市病院事業報告

#### (1) 患者数

##### ア 市立2病院全体

市立2病院全体の延入院患者数は6万4,007人で、前年度に比し1,693人の増となった。

また、延外来患者数は6万154人で、前年度に比し424人の減となった。

##### イ 美祢市立病院

美祢市立病院においては、延入院患者数は3万3,714人で前年度に比し950人の増、1日平均入院患者数は92.4人で前年度に比し2.9人の増となり、病床利用率は、75.9%となった。延外来患者数は、3万5,669人で前年度に比し306人の減、1日平均外来患者数は143.5人で前年度に比し0.8人の減となった。

なお、患者1人当たりの収益は、入院3万1,396円、外来1万3,709円となった。

##### ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院においては、延入院患者数は3万293人で前年度に比し743人の増、1日平均入院患者数は83.0人で前年度に比し2.3人の増となり、病床利用率は83%となった。延外来患者数は、2万4,485人で前年度に比し118人の減、1日平均外来患者数は100.8人で前年度に比し0.4人の減となった。

なお、患者1人当たりの収益は、入院2万6,921円、外来8,103円となった。

#### (2) 収益的収支

##### ア 市立2病院全体

令和6年度の市立2病院事業の収益的収支は、総収入36億3,677万2,211円、総支出39億5,999万3,192円を計上し、差し引き3億2,322万981円の純損失となった。

その結果、この純損失に前年度未処理欠損金の7億6,444万564円を加え、10億8,766万1,545円の当年度未処理欠損金となった。

##### イ 美祢市立病院

美祢市立病院は、総収入21億4,246万7,074円、総支出23億7,541万1,258円で、差し引き2億3,294万4,184円の純損失となった。

##### ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院は、総収入14億9,430万5,137円、総支出15億8,458万1,934円で、差し引き9,027万6,797円の純損失となった。

## 2 令和6年度における各種経営指標の数値目標と達成度

### ○美祢市立病院

		経営指標の数値目標と達成度				
		単位	R 6 目標	R 6 実績	達成 状況	特記事項
1 病院機能・収益向上に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]						
① 入院患者数（1日当たり）	一般	人	68.0	56.9	×	新型コロナのクラスター発生及び常勤医師の減により、新型コロナウイルス流行前の水準に戻っていないため
	療養	人	38.0	35.4	△	新型コロナのクラスター発生及び常勤医師の減により、新型コロナウイルス流行前の水準に戻っていないため
	② 外来患者数（1日当たり）	人	160.0	143.5	×	新型コロナのクラスター発生及び内科常勤医師の減により、新型コロナウイルス流行前の水準に戻っていないため
	③ 救急受入件数（年間）	件	751	770	○	
	④ 紹介率	%	36.0	42.8	○	
	⑤ 逆紹介率	%	17.5	89.3	○	医師の退職に伴う増加
	⑥ リハビリ件数（年間）	件	27,409	36,804	○	
2 経費削減に関する指標 [実績/目標=100%以下：○、100%以上110%未満：△、110%以上：×]						
① 職員給与費対医業収益比率	%	70.2	80.0	×	医業収益の目標未達、人事院勧告に準じた人件費の増のため	
② 材料費対医業収益比率	%	15.6	19.6	×	医業収益の目標未達、物価高の影響による材料費の増のため	
③ 委託料対医業収益比率	%	11.1	13.8	×	医業収益の目標未達、最低賃金上昇に伴う委託料の増のため	
3 収支状況に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]						
① 経常収支比率	%	101.5	90.2	△	医業収益の目標未達のため	
② 医業収支比率	%	88.3	76.1	×	医業収益の目標未達のため	
③ 資金収支（単年度）	百万円	41	△233	×	医業収益の目標未達のため	

### ○美祢市立美東病院

		経営指標の数値目標と達成度				
		単位	R 6 目標	R 6 実績	達成 状況	特記事項
1 病院機能・収益向上に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]						
① 入院患者数（1日当たり）	一般	人	51.0	47.2	△	インフルエンザ流行期の新規入院患者の減及び新型コロナウイルス流行前の水準に戻っていないため
	療養	人	37.0	35.8	△	新型コロナウイルス流行前の水準に戻っていないため
② 外来患者数（1日当たり）	人	110.5	100.8	△	発熱外来の減少	
③ 救急急受入件数（年間）	件	756	851	○		
④ 紹介率	%	48.7	31.8	×	患者転院等の鈍化	
⑤ 逆紹介率	%	34.1	28.8	×	かかりつけ患者数の増加	
⑥ リハビリ件数（年間）	件	20,635	21,762	○	職員の職場復帰による受入件数の増加	
2 経費削減に関する指標 [実績/目標=100%以下：○、100%以上110%未満：△、110%以上：×]						
① 職員給与費対医業収益比率	%	77.6	93.3	×	給与費の上昇及び医業収益の目標未達のため	
② 材料費対医業収益比率	%	10.4	14.8	×	材料費の高騰及び医業収益の目標未達のため	
③ 委託料対医業収益比率	%	12.1	10.2	○	業務委託見直しのため	
3 収支状況に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]						
① 経常収支比率	%	102.9	94.4	△	給与費及び材料費の上昇及び医業収益の目標未達のため	
② 医業収支比率	%	84.3	73.3	×	給与費及び材料費の上昇及び医業収益の目標未達のため	
③ 資金収支（単年度）	百万円	24	△90	×	給与費及び材料費の上昇及び医業収益の目標未達のため	

### 3 評価と経営改善に向けた取組み

#### (1) 評価

- 市立2病院とも入院患者数の増加により入院収益が増加し、医業収益が増加している。これは美祢市立病院においては、令和6年度に病棟別の機能分化を明確にするとともに、効率的に運用できるよう病床数の適正化を図ったことが大きな要因である。
- 一方、費用面においては、病院事業全体において人事院勧告に準じた人件費の増加や最低賃金の上昇、原材料価格、原油価格の高騰など社会情勢の影響を大きく受け、給与費、材料費、経費の支出が増加している。
- この結果、美祢市立病院では233百万円、美祢市立美東病院90百万円の純損失を計上することとなった。
- 特に、美祢市病院事業全体で、運転資金が枯渇しており、資金増加（確保）の対策が急務である。

#### (2) 経営改善に向けた取組み

- 令和6年度からは、令和6年3月に策定した「美祢市病院経営強化プラン」に基づき、経営改善に向けた行動計画を策定し、個別具体的な取り組みを進め、患者・医師の確保に努め、医業収支の改善に努める。
- 具体的には、美祢市病院経営強化プランに掲げる地域密着型多機能病院として、市外の急性期病院及び市内の開業医や高齢者施設との連携を強化し、積極的に紹介患者や救急患者を受け入れることにより、入院患者の増加に繋げ、持続的で安定した経営に引き続き取り組んでいく。
- 美祢市立病院では、訪問診療など在宅医療の強化を行い、医業収益の増加に繋げる。また、美祢市立美東病院ではさらなる病床機能の転換を行い、地域の医療需要に柔軟に対応できる体制を整備する。
- 市立2病院が有する医療資源をより有効かつ効果的な運用を図るため、市立2病院の一体的運用を目指していくにあたり、それぞれの特性に応じた機能の集約を行っていくことにより、収益の安定化を図る。
- 昨今の社会情勢を受け、人件費の高騰が顕著であり収益を圧迫しているため、事務系職員の人員配置の見直しを早急に進める。
- 最低賃金の上昇に伴い、委託方式をとっている業務（清掃・給食・管理営繕など）に関して、経費縮減に向け、それぞれの業務範囲や業務遂行方式の見直しを進める。